

# 東和便り



2020年度 第 1 号

2020.5.7 和歌山市立東和中学校

新型コロナウイルス感染症対策が、世界中で続いています。本来ならば、この東和便りは、4月9日の始業式に第1号を発行し、4月の行事等をお知らせする予定でした。昨年度からの臨時休業が延長され、全国的に緊急事態宣言が出されるなど、世の中の情勢が刻々と変わり、今後の予測も難しい状況です。臨時休業はさらに5月31日まで延長されますが、再開時の始業式を設定していた5月7日である本日、まずはここで第1号を発行し、学校から生徒、保護者、地域等へ情報を発信いたします。

さて、4月8日には入学式を挙行了しました。感染症拡大防止の措置を取り、例年とは違う入学式となりました。そのときの学校長の式辞をあらためて文字にして掲載します。新入生だけでなく、いま、生徒のみなさんに伝えたいことを含んでいますので、ぜひ読んで、考えてみてください。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。まずは、こうして入学式を挙行できたことを一緒に喜びましょう。保護者のみなさま、本日は誠におめでとうございます。例年とは違う簡易な形での入学式となりましたが、ご理解・ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

さて、新入生のみなさんが、おとなになって社会で活躍する頃、世の中は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されています。グローバル化\*が進み、人工知能(AI)が飛躍的に進化するなど、いま、世の中は急激に変化しており、予測が困難な時代となっています。世界中を不安に陥れている新型コロナウイルス感染症についても、まさに予測できなかったことの一つです。今後は、このような思わぬ出来事が次から次へと起こって

くると予想されます。しかしながら、人類は、歴史上様々な困難を乗り越え、現在を迎えていることも事実ですから、希望をもって生きていくことが大切だと思います。

新入生のみなさんは、このような時代を生き抜くために必要な力を、東和中学校での3年間で身につけます。みなさんは、日々の生活の中で、様々な変化や課題に積極的に向き合い、まずは自分で考え挑戦し、うまくいかないときは仲間とともに考え挑戦します。結果として、うまくいくかどうかはともかく、目の前の課題を乗り越えようと挑戦することが、将来生きていく上で必要な力を身につけることになるのです。わからないとき、できないとき、うまくいかないとき、そのときがチャンスです。わからないこと、できないこと、うまくいかないことを大切にし、挑戦し続けることを楽しむ3年間にしましょう。

保護者のみなさまには、お子さまのこれからの3年間は有意義なものとなるよう、教職員一丸となって教育活動に励むことをお誓い申し上げます。お子さまの健全な成長に向け、地域のみなさまのご協力を得ながら、保護者のみなさまと手を携え取り組んでまいります。ご協力くださいますようお願い申し上げます。

さあ、中学生としてのスタートです。健康で、笑顔あふれる中学校生活にしましょう。

※ グローバル化…社会的・経済的に国や地域を超えて世界規模でその結びつきが深まること

東和便りは、東和中学校ホームページにも掲載しています。

<http://www4.wakayama-wky.ed.jp/towa/>